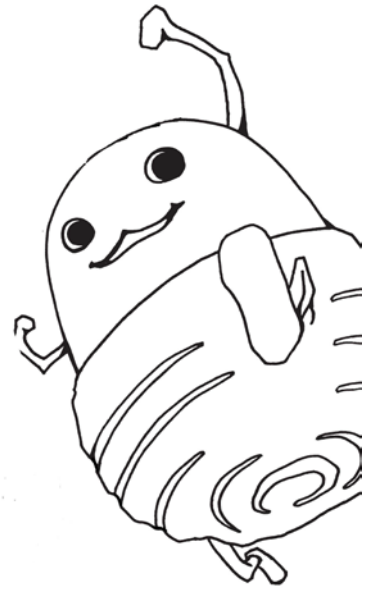




自然を楽しむ！
自然で遊ぶ！

茅ヶ崎里山公園セルフガイド 指導者の方へ



茅ヶ崎里山公園のセルフガイドとは

リーフレットや野外の看板などをたよりにして、来園者が自分達で自然を楽しむ体験プログラムです。看板を見つけるオリエンテーショナルな楽しみや、クイズを解き明かしていくようなおもしろさがあります。

場所は？：里山公園内の地図で示された場所（パークセンターと多目的広場周辺）の中で実施します。次ページに地図掲載。

時間は？：時間設定は自由です。所要時間は50分～1時間半を目安にしてください。

時期は？：春編（4～8月）と秋編（9～12月）があります。

対象は？：セルフガイドは3・4年生を主な対象にしていますが、小学生以上であれば、どなたでも楽しむことができます。また、大人の方が一緒であれば小学生未満のお子様でも楽しむことができます。

費用は？：無料です。

どこでもらえる？：パークセンターで直接お渡しします。クリップボードやえんぴつの貸し出しも行っています。団体の方はセルフガイドの用紙を茅ヶ崎里山公園のホームページからダウンロードし、コピーしてお使いください。

茅ヶ崎里山公園のホームページ→<http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/>

セルフガイドのねらい

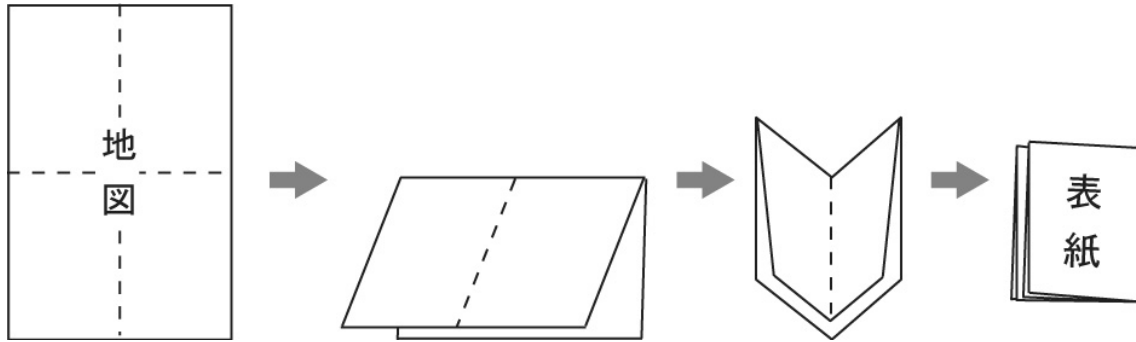
- ・自然の中で過ごすことが楽しいと感じてもらうこと
- ・里山の自然に触れ、里山を知るきっかけとなること

植物の名前など知識を求める問いかけは一切ありません。まずは楽しい体験をすることで、自然を身近に感じられるよう促してください。体験したことが楽しければ、おのずと自然に興味をもつようになると考えています。

活動の前にはすること

■ やり方の説明をする

- ・用紙をひとり1枚ずつ配る。用紙は直角に2回折って、ブックレット型にします。



- ・見開きページの中心にある地図の範囲と現在地を確認します。
- ・園内には4箇所活動のヒントが書かれた野外看板が設置されているので、まずそれをさがすことを伝えます。看板に順番は付いていないので、どこからでも構いません。
- ・鉛筆など書くものを持って、それぞれで活動します。
※指導者が1名の場合は、全員で移動しながら活動してもよいでしょう。
- ・集合して、回答用紙を配ります。

■ 園内での過ごし方について伝える

- ・植物や昆虫などの採取は禁止されています。活動に必要なだけ採取し、それ以上は採取しないことを必ず伝えてください。
- ・なるべくトレール（道）を外れないで活動すること（特に里山の小路）を伝えてください。

■ 集合時間の約束と集合場所の確認をする

セルフガイドの最後には「パークセンターへ行こう」と書かれています。集合場所をパークセンターにしない場合は、必ず確認をしてください。

■ えんぴつを持った活動。走らないよう注意を促す

えんぴつを持ちながら走るのは大変危険です。時間を競うものではないことを伝え、走らないよう伝えてください。

■ セルフガイドをやりたくなるような言葉かけをする

マンガの部分（表紙、2・3ページ）を読んでから…「さあ！里山公園の宝物はみつけれられるかな？競争ではないから、焦ることはないよ。のんびり楽しみながら、チャレンジしておいで！」

活動中:指導者から子ども達へのアドバイス

基本的に安全を確保しながら子ども達の活動を見守りますが、どうしても困っている子がいれば、そっと背中を押してあげるような声かけをしてあげましょう

※以下、「 」内は言葉かけや発問の例です。

①自然のぬりえ：この活動を通して、自然の中にはたくさんの色があることを知ります。

【やり方のコツ】

- ・葉っぱや草はなるべく柔らかいものの方が、色がつきやすい。
- ・葉や草は手で揉むと色が付きやすくなる。
- ・強くこすりつけると紙が破けてしまうので、やさしく押しながらこする。

「こすりつけた葉や花は土の上に返してあげよう。土の中にいる虫のご飯になるから。」

②タンポポの花のヒミツ：知っていると思っても「よく観る」ことで発見があることを知ります。

- ・タンポポの花を見たことがない、わからないという子がいたら、一緒にさがしてあげてください。
- ・むやみに花を採らないよう、活動を見守っててください。

「絵の上手い下手は関係ないよ！丁寧に描くことが一番大切なことだよ！」

③音さがし：意識して音を聴くことで、聞こえる音があることを知ります。

【やり方のコツ】

- ・短い時間でいいので、友達と離れてみる。
- ・しゃべらない、目をつぶる、耳をすます。

「音は遠くから、近くから、上から、足元から、さまざまな場所から聞こえてくるよ。」

④本当にある？：本当に冷たい等の正解を当てる問いではなく、さがし出すプロセスで木に触れる体験をすることが目的です。

- ・斜面等の木を触ろうとしている子どもには、足元の注意をお願いします。

「とにかくたくさんの木にどンドン触ることが一番！」

「友達と意見が違ってもいい。自分の感覚を一番に決めよう。」

⑤どれかひとつ、やってみよう：自然に触れる、自然の中で過ごす具体的な方法を体験することが目的です。

「できれば全部チャレンジしてみよう！」

「普段は絶対にやらないことにチャレンジする方がおもしろいよ」

活動後のふりかえり

実践してきたことを「ふりかえる」ための時間をもつ
「一番の正解は『自分でやった』ということ」

すぐにまとめのシートを配るのではなく、子ども達の様子を見ながら、「やってみてどうだった?」「やってみて、気づいたことはあった?」などを問いかけ、何人かに感想を聞いてみましょう。時間があれば一つずつの項目についてふりかえり、最後にまとめのシートを配ると良いでしょう。

2種類のふりかえりのバリエーション

- ・数人でグループを作り、グループ内で発表しあう。
- ・全員の用紙を地面に並べて置き（置き方は自由）、用紙を全員で見る時間をつくる。
貼り出せる場所がある場合は、後日貼り出すことで、活動を思い出す機会にもなる。

①自然のぬりえ

ぬりえの出来具合ではなく、色をみつけられたこと（たくさん色、おもしろい色等）を評価するとい良いでしょう。

「みんなが塗った色はどのくらい持つと思う?」

→色は変化するが、何年も色は落ちない。どのくらい持つのか自分で確かめてみては?

「実際の葉や花の色と、こすりつけた色は同じだった?」

→異なることが多い。色々な葉・草・花・土で試してみて、たくさん自然の色をみつけてみましょう。

②タンポポの花のヒミツ

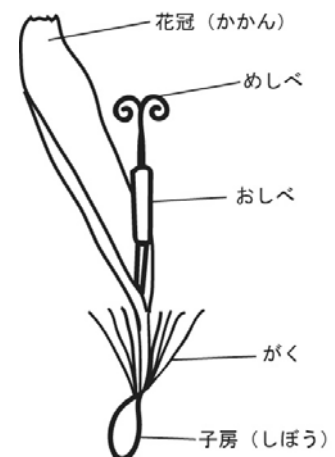
丁寧に描けたかどうか、特徴を捉えられているかを評価するとい良いでしょう。タンポポに興味を持った子がいれば、簡単に説明をします。

【セイヨウタンポポ】

キク科タンポポ属、明治時代にヨーロッパから入ってきた帰化植物。

在来種であるニホンタンポポと非常によく似ているが、黄色い花（集合花）の下の部分、「そうほうへん（総包片）」がそり返ることで簡単に見分けることができる。明るいとき花が開き、暗くなると花を閉じる。

→花弁（かべん）はいわゆる“花びら”で、花弁の集合体が花冠（かかん）。子房（しぼう）は種子となる場所。がくは、綿毛になる。



③音さがし

音さがしで工夫したこと（手を耳の後ろにあてた、ひとりで静かにしていた等）や、さがし出した音をどのように表現したか等を評価します。

「耳は使っているようで使っていないもの。意識的に耳をすませば、本当にたくさんの音を聞くことができるよ」

「音は自然を知るのに大切な情報。自然の音をさがせるようになることは、自然に近づく方法のひとつだよ」

一番好きな音を一人ずつ発表してもいいでしょう。

④本当にある？

木に触れて気づいたことややってみて感じたことを聞き出してあげましょう。多くの木に触れたことを評価してあげるのもいいでしょう。

「4つの木をさがし出すのに、全部で何本くらいの木に触った？」

「木の種類によって、木の肌は違います。木の感触を確かめることは木を見分ける大切なポイントになるよ。つるつるの木やぼこぼこの木が、図鑑ではなんという名前で載っているか調べてみるのも楽しいね。」

⑤どれかひとつ、やってみよう

『やってみた』ことをまず評価してあげましょう。やってみて気づいたことが書けていれば、それも評価しましょう。

「全部やってみた人はいる？」→挑戦者がいたら、全員で盛大に拍手しましょう！
・いつもと違ったことをすると、今まで気づけなかったことを発見できることを伝えましょう。

「寝転がって空を見れば、トンビやタカが悠々と空を飛ぶ姿を観察できるかもしれない。裸足で土や芝生の上を歩けば、土の感触や温度を知ることができるかもしれない。おもいきり背伸びと深呼吸をすれば、森の香に気づくことができるかもしれない。好きな木に抱きついて目を閉じれば、木のぬくもりを感じたり、色々な音が聞こえたり、自分の心臓の音が聞こえたりするかもしれない。どれもやらなきゃ損だね！今日出来なくても是非チャレンジしてみて。」

指導者の方の役割 <3つの「う」>

うながす・with（ういず）・受けとめる

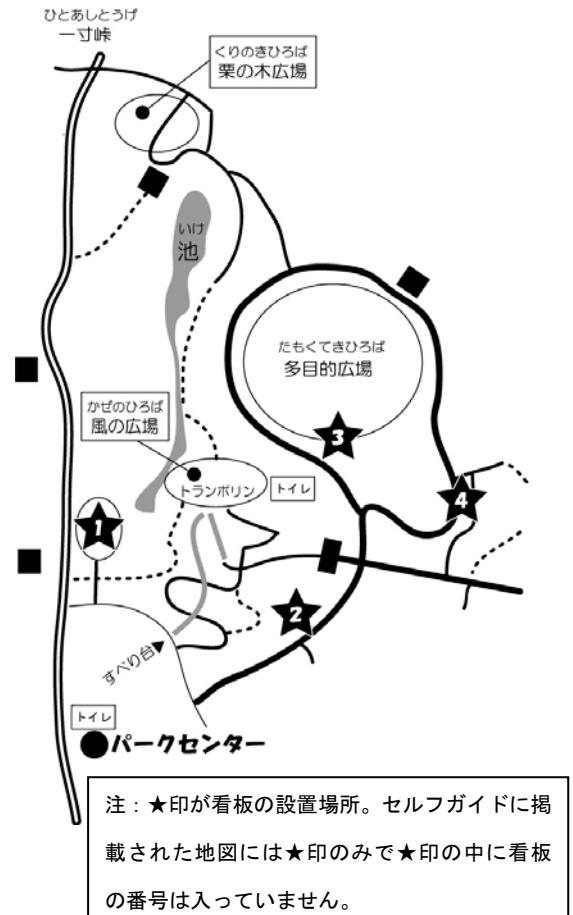
指導者の方は子ども達が自らの意思で動くよう働きかけ（うながし）、活動を一緒に楽しみ（with）、個々の活動の成果をほめてあげてください（受けとめる）。



補足資料：4つの看板の設置場所と内容

看板の内容(=ヒント)は、活動しやすい場所を知らせている、というもの。おすすめの活動場所は一箇所に限っていません。例えば、①自然のぬりえは看板1・2・3のいずれでもおすすめの活動場所として紹介しています。

★看板1



★看板2

●春編のヒント：この辺りは触りやすい木や草がたくさんあるよ。①自然のぬりえや②タンポポの花のヒミツ、④本当にある?をやってみよう!

●秋編のヒント：木の下にたくさんの落ち葉があるね。②お気に入りの落ち葉をさがそう、④葉っぱのフロッタージュは、ここでやるのもおすすめ!⑤のどんぐりもこの辺りに...?

★看板3

●春編のヒント：広場にはやわらかい草やタンポポがたくさんあるよ。①自然のぬりえ、②タンポポの花のヒミツは、この広場でやってみるといいかも!⑤どれかひとつ、やってみようは、絶対ここがおすすめ!

★看板4

●春編のヒント：この辺りは静かな場所。③音さがしがおすすめ。触りやすい木がたくさんあるので、④本当にある?もやってみよう!

●秋編のヒント：木の下にたくさんの落ち葉があるね。②お気に入りの落ち葉をさがそう、④葉っぱのフロッタージュは、ここでやるのもおすすめ!⑤のどんぐりもこの辺りに...?

【発行・お問い合わせ】指定管理者 公益財団法人 神奈川県公園協会

県立茅ヶ崎里山公園パークセンター

〒253-0008 神奈川県茅ヶ崎市芹沢 1030 TEL : 0467-50-6058 FAX : 0467-50-6358

HP : <http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/>